

かずらはたより



ごあいさつ

歌舞伎発祥四百年の平成十五年に三十七年ぶりに復活をいたしました農村歌舞伎「葛畑座」にもない、「せきのみや子ども歌舞伎」は伝統文化継承の一環として発足しました。

第六回の公演も「好評いただき無事に終える」ことが出来ました。

この公演には、松竹上方歌舞伎塾、水口一夫先生をはじめ、関係者皆様のご指導、ご支援、ご協力をいただきましたこと、また「ご来場賜りました皆様のおかげと心よりお礼を申し上げます。

このような活動を通して、農村歌舞伎の伝統を守っておりますが、昨今の諸事情により国、県、市の補助金に依存している状態では、年々運営が難しくなってきました。

平成十九年より発足しました葛畑農村歌舞伎伝承会の会は、現在百六十名のご加入を頂いております。この会は古きよき時代から続けてきております「農村歌舞伎」を大人から子どもへと伝承していくため、「ご支援をいただく」ことを、目的とした会でございます。

また地域伝承文化の復活と継承活動が地域の文化の輪を広げ、人と人とのふれあいを深めることにつながります。

「ご理解をいただき、「ご加入をいただきました会員の皆様にはお礼を申し上げます。

今後とも「協力をいただき、加入促進のほどをお願いいたします。

会長 西村武



農村歌舞伎『葛畑座』総務大臣賞受賞



このたび、創意工夫をもつて過疎地域の活性化に取り組み、先進的な事例としてふさわしい団体に贈られる「過疎地域自立活性化優良事例表彰」の総務大臣賞を受賞しました。

今回の受賞にあたっては、葛畑座の活動が地域文化の振興に大きく寄与するとともに、周辺地域と連携して集落の活性化を図っている事例として高く評価されたものです。

国民文化祭にせきのみや子ども歌舞伎が出演

十一月三日、第二十三回国民文化祭が茨城県で開かれ、兵庫県の代表としてせきのみや子ども歌舞伎が参加し、「葛畑三番叟」を披露しました。

国民文化祭は、全国で活動している文化・芸術活動の愛好者や団体が一堂に会して、音楽や演劇、伝統文化の競演を繰り広げたり、一般公募により出品された文芸や美術作品の展示、さらに開催地独自の文化・芸術イベントなどを行う、国内最大の文化・芸術の祭典です。

養父市の伝統芸能を全国に発信する良い機会になりました。

